平和体験学習で学んだこと

北中学校　三年　西　穂乃佳

私は、授業で戦争について学び、原爆について学び、原爆について深く知りたいと思い、八月の七日と八日に広島県へ原爆について学びに行きました。そして、この二日間は、私にとってとても良い経験になりました。

私の中で、特に心に残っているのは、平和記念資料館へ行ったときのことです。私は、資料館へ行くのが初めてだったので、行くのをとても楽しみにし、また、一つ一つの資料をじっくり見て回ろうと思っていました。しかし、一つだけしっかりと見ることができなかったものがあります。それは、被爆者の方々が、被爆後の様子を描いた絵です。たくさんの資料や掲示があった中、その絵からは被爆後の様子だけではなく、絵を描いた方々の気持ちまでもがとても伝わってきました。私は、原爆の残酷さや悲惨さを分かっていたつもりでしたが、その絵を見て、何も分かって

20 × 20

いなかったことに気づきました。広島県へ行く前は、原爆について学びたい、資料館へ行くのがとても楽しみだと思っていた私でしたが、その絵を見た時には、ここから逃げ出してしまいたいと思うほど心が苦しく、思わず目を逸らしてしまいました。その事が今でも心残りで、後悔しています。

二日目には、実際に被爆をされた方のお話を聞きました。地図を用いながら、丁寧に話して頂いた話は、その時の情景が浮かぶようで、とても貴重な経験をさせて頂いたと改めて感じました。また、原爆という事実から目を逸らしてはいけない、話して頂いたお話や、今回経験したことを、伝えていくべきだと感じました。今は、まだまだ浅い知識ですが、これを機にもっと原爆について理解を深め、多くの人に伝えていきたいと思っています。

たくさんの大切なことを教えてくれた今回の体験学習は、私の夏休みの一番の思い出になりました。

20 × 20